

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第2回宍粟市手話施策推進会議	
開 催 日 時	令和4年3月3日（木）から3月31日（木）まで	
開 催 場 所	書面開催	
議長（委員長・会長） 氏 名	委員長 岩本 吉正	
委 員 氏 名	（出席者） 岩本吉正、鳥越隆士、内山真理子、藤田敏、八木昌幸、尾形治美、門前真弓、八木春男、黒田孝志、田中祥仁、細川雅弘、志野木里美、井上千景、安東智子	
事 務 局 氏 名	小椋、森谷、斜森、後藤、伊藤	
傍 聴 人 数	—	
会議の公開・非公開 の区分及び非公開 の理由	公開・ <input type="checkbox"/> 非公開	（非公開の理由） 書面開催のため
決 定 事 項	（議題及び決定事項）	
会 議 経 過	今回の会議については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、参集による開催を中止し、書面（「意見報告書」の提出）により開催した。	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	

(意見報告書要約)

(1) 令和3年度手話施策推進方針実施状況について

発言者	意見・質疑
細川委員	コロナの影響により中止になった事業もあるが、相対的にみて評価できる実績を残していると思う。
鳥越委員	全般的にコロナ禍の制約の中、可能な部分で事業を展開できたと感じた。手話教室や研修等、できなかった部分はオンラインやビデオ教材提供など対面でない方法の検討もあっていいかと思った。  <b>施策1 (1) ①しそチャンネルを用いた手話啓発動画の製作・放送</b>
鳥越委員	手話フェスタの様子をしそチャンネルで放送とあるが、実績はゼロとなっている。
事務局	記載していなかったため、その他として実績を追加する。
八木(昌)委員	耳のしくみ、自転車の動画を製作したが、放送は1回だけか。大切なことなので、毎年放送するのはどうか。
事務局	しーたん手話講座だけでなく、定期的に耳のしくみ等の動画も再放送するよう、担当課に依頼する。
安東委員	<b>施策1 (2) ①学校園所等を対象とした手話教室の実施</b>  コロナ禍のため、手話教室実施回数が減少したことについては理解できる。しかし、新しく手話教室を依頼する学校が全く増えない原因は何だと思うか。  障害福祉課が未実施校に文書で実施依頼をされるだけでは、これから先も全学校で実施することはできないと思う。学校関係については、教育委員会の協力が不可欠である。これまでの推進会議で教育委員会の協力をお願いしたが、障害福祉課から教育委員会

事務局	<p>に対して、具体的にどんな声かけやお願いをしたか。</p> <p>聴覚に障害のある児童が在籍している学校に対しての手話教室が計画どおり進んでいることは評価できる。</p> <p>新しく手話教室を依頼する学校が増えていない原因については、コロナの影響を受け学校側も様々な対応が求められる中で、新たに手話教室を実施することの重要性が十分に伝わっていないためではないかと考えている。</p> <p>教育委員会に対しては、手話教室の実施依頼をしたい旨相談し、全学校の特別支援教育コーディネーターが集う会議で依頼してはどうかと提案いただき、障害福祉課から説明を行った。</p> <p>一部の学校では、福祉学習の一環として学年を決めて手話教室を実施していただいている。手話教室を実施した学校から内容や講師に対し高い評価をいただいていることが、手話教室の継続的な実施に繋がっていると考えている。障害福祉課だけでなく、手話教室講師派遣運営委員会とともに、全学校で手話教室が福祉学習として計画に入ることをめざし、働きかけていきたい。</p>
内山委員	<p><b>施策 1 (2) ③通いの場づくり応援事業における手話教室の実施</b></p> <p><b>施策 1 (2) ④民生委員対象手話教室の実施</b></p> <p>学校園所対象、高齢者団体の通いの場づくり応援事業、民生委員対象の手話教室をコロナ禍の中でも実施されたことは素晴らしい。</p>
黒田委員	<p>波賀民生委員会で研修会を行いたい。</p>
安東委員	<p><b>施策 1 (2) ⑤宍粟市手話フェスタの開催</b></p> <p>参加者 99 名の表記だけでなく、スタッフ 53 名、来場者 46 名の記載が必要。</p> <p>とても良い取り組みであるにもかかわらず、PRがしっかりできていなかったことを残念に思う。イベントの内容・運営について、ろうあ協会や手話サークル連絡会との話し合いがほぼなかったこ</p>

事務局	<p>とも残念だ。</p> <p>スタッフ 53 名、来場者 46 名を追加する。 指摘のあったことについては、次回のイベント開催に活かしたい。</p> <p><b>施策 1 (3) ①公立病院、消防署、教職員を対象とした手話教室の実施</b> <b>施策 1 (4) ②事業所を対象とした手話教室の実施</b></p>
岩本委員	<p>実績はゼロだが、何か理由はあるか。コロナ禍でもオンラインで開催はできなかったか。</p>
八木(昌)委員	<p>実施できない原因は何か。コロナもあると思うが、他に原因はあるか。</p>
事務局	<p>コロナ禍を理由に、積極的に依頼できなかったことが原因。 オンライン開催により、実施を希望する事業所が増える可能性もあるため、選択肢が増えるよう、まずは職員を対象に試験実施したい。</p> <p><b>施策 2 (1) 意思疎通支援事業（手話通訳者の派遣）</b></p>
岩本委員	<p>窓口相談件数が 576 件もある。 見込目標数より数が増えており、相談が多いのは当然のことなので、実績報告だけで良いのではないか。</p>
内山委員	<p>派遣件数は減少しているが、窓口相談件数がかなり増加している。 詳細は個人情報守秘義務もあるが、コロナに起因することも多くあったのか。</p>
事務局	<p>岩本委員の意見のとおり、窓口見込件数に目標を設定する必要はないため、今後は実績報告で評価していただけるようにしたい。</p> <p>窓口相談件数 576 件のうち、LINE での相談が 171 件あり、令和元年度の 75 件と比較し、コロナの影響を受けて大きく増加してい</p>

	<p>る。また、令和3年度はワクチン接種の通訳対応や体調急変による訪問、医療機関での通訳対応もあり、件数が多くなっている。</p>
<p>鳥越委員 事務局</p>	<p><b>施策2 (3) ③コミュニケーションボードの作成</b></p> <p>配布数の実績がゼロとなっている。</p> <p>避難所配布分と個別配布分として、31枚に修正する。</p>
<p>尾形委員 事務局</p>	<p><b>施策2 (4) ②ICTを活用した支援体制の調査・研究</b></p> <p>手話教室オンライン実施の検討というのは、職員対象という意味か。</p> <p>オンラインでの手話教室について、まず職員向けに開催し、実施可能であることが確認できれば、オンライン開催可能である旨、案内に追加したいと考えている。</p>
<p>内山委員 事務局</p>	<p><b>施策2 (3) ④Net119 緊急通報システム利用登録に係る周知・申請サポート</b></p> <p>Net119は、説明会以外でも随時登録手続きすることは可能か。</p> <p>随時、障害福祉課や西はりま消防管内の各消防署で手続きできる。</p>

(2) 令和4年度手話施策推進方針実施予定事業について

発言者	意見・質疑
鳥越委員	<p>コロナ第7波が来たときの代替実施方法（単に中止や延期にするのではなく）なども検討しておいてもいいかと思う。</p>
事務局	<p>令和3年度は、緊急事態措置により会場の開館時間が短縮となったため、やむを得ず延期した講座があった。 試験対策講座等、日程や講師の都合で延期できない講座もあるため、オンライン実施が可能な講座については、切り替えて実施できるようにしておく必要があると考えている。</p>
細川委員	<p>宍粟市手話フェスタ 2021 の実施報告より、成功裡に終わっている ので、2022 年度もさらに工夫してステップアップしてほしい。</p>
事務局	<p>令和4年度は、「みんなをつなぐ心のバリアフリー展」の中で手話啓発を行う。手話フェスタと同規模のイベント開催については未定だが、ろうあ協会や手話サークル連絡会と協議しながら、開催方法を検討したい。</p>
安東委員	<p><b>施策1 (2) ①学校園所等を対象とした手話教室の実施</b></p> <p>小中学校の場合は、未実施の学校数が把握できるように、実施回数ではなく、実施校数で表記してほしい。令和3年度では、同じ小学校で学年を変えて2回実施された学校があったと記憶している。</p> <p>聴覚に障害のある児童が在籍している学校に対しての手話教室を目標回数が令和3年度の実施回数より少なく設定されているのはなぜか。</p> <p>①対象児への手話指導 各校3回、②通常学級での手話教室 各校1回、③教員への手話研修 各校1回の10回を目標にしてほしいと思う。</p>

事務局	<p>令和3年度の手話教室実施の内訳については、保育園2か所、小学校5校、中学校2校となっている（令和4年1月末時点）。令和4年度以降は、実施回数だけでなく、実施校数も記載する。</p> <p>難聴児在籍校での手話教室について、学校との調整では①対象児への手話指導を各校2回／年の計画としている。</p> <p>初年度である令和3年度は、講師との顔合わせのために①対象児への手話指導を1回多く実施したが、学校の意向や児童に合わせ、随時変更しながら実施したい。</p> <p><b>施策1（2）②はじめての手話教室の実施</b></p>
八木（昌）委員	<p>市民に対して手話教室を開催することはいいと思う。しかし、アンバサダー登録者の増加を図るのは、間違った知識を広めてしまう恐れがあるのではないかと思う。</p> <p>多くの市民に聞こえないことや手話のことを知ってもらう機会をつくるという方がいいと思われる。</p>
尾形委員	<p>はじめての手話教室は現在、年1回を2回に増やす予定ということか。</p>
事務局	<p>はじめての手話教室を奉仕員養成講座の導入としてだけでなく、手話を知るきっかけづくりとして、夏休みなど他の時期にも実施してはどうかと考えている。</p> <p>アンバサダー登録制度と併せて再検討する。</p> <p><b>施策1（2）⑦宍粟市で手話検定を開催</b></p>
岩本委員	<p>目標の受験者10人だが、昨年の受験者数が15人となっているので、20人にするのは厳しいか。</p>
内山委員	<p>手話検定について、令和3年度は5級のみだったが、令和4年度は複数の級の実施を考えているか。</p>

尾形委員	手話検定の開催は5級だけなのか。検討が必要と思う。
事務局	<p>令和3年度は、高校生12人の受験希望があったため、一般の受験者を募り、宍粟市で検定を実施した。</p> <p>検定実施のためには10人以上の受験者がいることが条件になるが、令和4年度は団体受験の希望がない。そのため、手話奉仕員養成講座受講者等に対し事前にアンケートを取った上で、2月の手話検定実施有無を10月頃に決定する。複数級実施は可能とのことなので、次回は4級と5級で受験者を募集したいと考えている。</p>
	<p><b>施策3 (1) ①設置手話通訳者の配置</b></p>
内山委員	事業の数が増え、設置通訳者の負担増も気になる。正職員化が望ましいが、2人とも週5日勤務にするなど、なにか変更の動きはあるか。
事務局	令和4年3月末で、週4日勤務の設置手話通訳者1名が退職する。4月以降については、常勤の設置手話通訳者1名と手話奉仕員1名の2名体制で事業を進めていく。

・ イベントを活用した手話啓発について

発言者	意見・質疑
岩本委員	<p>100 人の参加者が集まったことは、少しでも手話言語を知っていただく場があつていいと思った。まだまだコロナ禍が続いているが、来年も是非開催していただきたい。</p>
鳥越委員	<p>手話教室（学校園所、民生委員、事業所等）の参加者に何か役割を担っていただくことを考えてもいいのではと感じた。それにより、手話に継続して接する機会をもってもらえることができると思う。</p>
内山委員	<p>手話フェスタは想像していたよりも大がかりなもので、びっくりすると共に、準備が大変だったと思った。</p> <p>手話だけ、聴覚障害者だけをフォーカスしてのイベントは、これからは少し厳しいと思う。福祉の枠だけではなく、地域創生、ツーリズムなどにも関わっていければよいが。</p> <p>2023 年は G7 が日本にて開催予定で、県と姫路が関係閣僚会合の誘致をめざしているようだ。他市町より率先して何かからむことができればおもしろい。</p>
藤田委員	<p>手話フェスタの参加者は 99 名と書いてあるが、スタッフなどを引くと市民の数は少ない。</p> <p>協議（説明会）は 1 回のみだったが、開催日まで 2～3 回は協議するべきだ。</p> <p>手話フェスタは、ライン、しーたん通信メール、しそうチャンネルなどでもっと呼びかけてほしい。</p>
八木（昌）委員	<p>手話フェスタを開催できたのは良かったが、事前にろうあ協会及び手話サークル連絡会との実行委員会を行えなかったのは残念だった。可能であれば、継続して規模も負担が少ないようにして開催してほしい。</p> <p>バリアフリー展は、来庁者に啓発できる良い機会だと思う。当事者であるろう者とふれあえるのは非常に大切だと思う。</p>

尾形委員	手話フェスタを開催できて良かったが、当日だけ協力というより、ろうあ協会、手話サークル連絡会と一緒に取り組んでもらったらよかったのではないかな。
八木（春）委員	手話フェスタに参加した。私のような年配者が高校生と向かい合 わせで話をするのは気が引ける。 フェスタなので、どこかで笑いとか子どもが喜ぶようなところも あったら良かったと思う。
田中委員	当日は所用で会場には行けなかったが、とてもいい取り組みだと思 う。せっかくの取り組みなので、この委員もスタッフとして関 われたら、なお良いと思う。
細川委員	山崎高等学校と連携したように、様々な団体と連携して事業を進 めていけばよいと思う。
井上委員	今年度新しい企画で「みんなをつなぐ心のバリアフリー展」が開 催された。障がい者の福祉や施設の紹介コーナーなど、まだまだ 知らないこともたくさんあり、PRするにはとてもいい機会だっ たと思う。本庁だけでなく、他の町でも実施してほしい。
安東委員	ろうあ協会や手話サークル連絡会には詳しい連絡もないままに、 イベントや手話啓発の行事が進んでいるように思えてならない。 これで連携と言えるのか。私たちは協力するだけの団体なのか。
事務局	多くの意見をいただき、感謝する。 令和4年度については、「みんなをつなぐバリアフリー展」の中で 手話啓発を行う。令和3年度は市でほとんど準備を進めてしまっ たが、今後のイベントや手話啓発の行事については、ろうあ協会 と手話サークル連絡会に中心となって企画していただきたいと考 えている。引き続き、ご協力いただくよう、お願いしたい。

・ 宍粟市手話啓発ロゴマークの活用について

発言者	意見・質疑
岩本委員	ロゴマークが可愛い。
内山委員	<p>熊本の「くまモン」のように、手続きさえふめば商用利用も無料でOKということを出せばどうか。</p> <p>英語、スペイン語、中国語、フランス語などの言語＋手話動画（国際手話）でも対応できれば、全世界でアクセス可となる。これをマスコミで告知すれば、申請はほとんどなかったとしても、話題になる。</p>
藤田委員	市役所で使うティッシュペーパーなどにマークを貼るのはどうか。
八木（昌）委員	手話を知らない一般の人の目につくようなもの、広報や窓口などに置くのはどうか。
尾形委員	宍粟ろうあ協会と手話サークル連絡会で行事を計画している（現在は自粛している）。今後、行事のビラなどにも活用させてもらいたいと思う。
田中委員	<p>学校での手話教室の際など、授業を受けた子どもにロゴマークのシールをあげるのか。</p> <p>手話教室受講者に配布と明記してあるが、広く大勢の方に目にする機会があれば良い。</p>
細川委員	まだまだ周知できていないので、いろいろなところで周知していく必要があると思う。
志野木委員	とてもいいロゴマークなので、多くの人に認識してもらえるといい。
井上委員	<p>とても素敵なロゴマークが出来上がった。このロゴマークが宍粟市内のあちこちにどんどん増えていくことが楽しみだ。これをきっかけに宍粟市が福祉にやさしいまちになっていけばと思う。</p> <p>事業所ステッカーについて、ステッカーを貼ることにより、事業</p>

事務局	<p>所が手話に対するプレッシャーを感じることなく、聴覚に障がいのある人へ「困りごとがあればいつでも声をかけてください」といったメッセージが届くステッカーになればと思う。</p> <p>ロゴマークに「SHISO」の文字が入っているため、宍粟市に関連のある団体等以外の申請は想定していない。</p> <p>井上委員の意見にもあるように、誰もが安心して暮らせるまちをめざし、手話教室受講者や手話アンバサダー、手話啓発協力事業所を通して、ロゴマークも市内に広がっていくことが理想。多くの方の投票により決定したロゴマークなので、市の啓発事業でも積極的に活用したい。</p>
-----	--

・ 宍粟市手話アンバサダー等登録制度について

発言者	意見・質疑
岩本委員	もっと通知が必要ではないかと思う。
鳥越委員	事業所に対する手話教室の実施が増え、登録事業所が増えればいいと思う。まずは商店街など一般の人の目につく場所での協力依頼が必要かと思う。例えば、商店街の事業所や業種ごとの連合会（コンビニ、医師会、補聴器取扱い店）のようなところへアプローチしてはどうか。
内山委員	「アンバサダー」と聞いて、ネスカフェアンバサダーを思い出した。手話アンバサダーも何か品物か役目か情報か、特典や動機づけになるものがあれば分かりやすいと思う。
藤田委員	手話教室を受けただけの人がアンバサダーとして情報発信するのに間違っただけのことを話すのではないかと心配する。
八木（昌）委員	アンバサダーの対象が、手話教室等を受講し、聞こえや手話の理解を深めたと認められる者とあるが、手話教室を受講しただけでは正しい情報を発信することは難しいと思われる。間違っただけの知識、手話を広める恐れがあり、不安だ。 啓発事業所も同じく、しっかりと正しい知識を学んでもらい、登録してもらうのが望ましい。ただ、毎年1回以上手話教室を行うのは難しいので、数年に1回がいいと思う。その場合、ステッカーにも更新日（3、4年）を明記した方がいい。
尾形委員	手話アンバサダーについて、よく理解ができていない。説明にもあるそれぞれが担う役割やメリットがよく分からず、対象である「手話教室を受けた人」では、名前だけになってしまう。 せっかく登録制度を作ったのに、十分な検討がされず、発車してしまったという感じがする。発車前に意見を聞いて欲しかったと思う。 「手話教室を受けた人」に対して、何かやってもらいたいと思ってこの制度を作ったのか。

田中委員	<p>PRが不足していると思う。 特に企業等ではメリットがないとなかなか取り組みが進んでいくのは難しいと思う。</p>
細川委員	<p>私自身は良い案は浮かばないが、ろうあ協会や手話サークル連絡会の意見を聞いて、改善して欲しい。</p>
井上委員	<p>手話が完璧にできないとアンバサダーやサポーターになれないと考えている人が多いのではないかと。 聞こえない人や地域で暮らさるろうあ者に普段から寄り添い手助けされている人はたくさんおられる。そんな人たちが気軽に登録してもらえたらと思う。</p>
安東委員	<p>アンバサダーは、どこでどんなときに情報を発信するのか。家族や友人などに手話教室で学んだことを話すだけでいいのか。それでアンバサダーと呼べるのか。 私たち手話サークル員は、経験年数に応じて、市や県主催の手話講座を受講している。そして、日々の手話サークル活動を通してろう者と交流し、共に手話の学習を続ける中で、くすの木学級などのサポーターとしても活動することができている。 手話奉仕員養成講座入門・基礎編を修了したというだけで、普段ろう者と交流のない方が手話でサポートすることができるのか。</p>
事務局	<p>手話教室を受けたことをきっかけに、アンバサダーとして登録することで、継続して手話に関わり、周りの人にも手話への理解を広めていく役割を担っていただきたいと考えていた。 皆さまにいただいた意見を参考に、ろうあ協会及び手話サークル連絡会と協議し、賛同いただける内容に改めた上で、改めて制度のPRを行っていきたい。</p>

・その他

発言者	意見・質疑
内山委員	<p>事業が多岐にわたり、発展していることの証だと嬉しく思う。手話の講座が特にいろいろ展開されてきている。それぞれの講座は継続しつつも、条例推進方針の項目としては少し整理しても良いかもしれない。</p>
事務局	<p>現在は実施事業のすべてを項目として挙げているが、手話施策推進方針アクションプランの見直しと併せて、項目の整理も検討したい。</p>
八木（昌）委員	<p>以前は、ろうあ協会と一緒に病院や消防署、イオンなどに赴いて手話教室を開くようお願いするなど、連携がとれていたように思うが、現在はどうか。</p> <p>「私たち抜きに私たちのことを決めないで」</p> <p>宍粟市に住んで良かったと思えるように、今後とも積極的に当事者を置き去りにせずに共に考えて良くしていけたらいいのではないかな。</p>
事務局	<p>令和2年度以降、コロナの影響で研修会等が中止や延期となり、他の業務負担増が推察される中で、手話教室の実施依頼を積極的にできなかった。今後は、ろうあ協会とも連携し、意見を聞きながら事業を進めていきたい。</p>
尾形委員	<p>評価欄が空欄になっているが、何か理由はあるか。</p>
事務局	<p>3月末の事業完了後に評価を行い、次回の会議で報告する。</p>
細川委員	<p>委員としてあまり活躍できていない。広報活動があれば、会員事業所に案内する。</p>
安東委員	<p>コミュニケーションをとるためのエコバッグの使い方についてこのエコバッグを製作した趣旨は何か。市内のろう者はもちろんのこと、いろんなイベントに来られた他市のろう者にも、抽選という形ではなく、必ず手渡してほしいと思う。そして、是非普段の生活の中で活用してもらいたい。</p>

事務局	エコバッグは、イベントでの啓発を目的に作製した。手話フェスタの来場者数が見込めず抽選形式としたため、抽選に当たらなかったろう者の方には配布できなかった。エコバッグは協力いただいた関係者に配布したほか、ろうあ協会に20枚渡したので、他市のろう者にも広めていただくなどご活用いただきたい。
-----	--

発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。